



アンベードカル博士銅像建立奉賛

佐々井秀嶺高野山講演

平成二十七年六月十四日

会場 高野山大学黎明館

インド不可触民解放の大導師アンベードカル博士の
意志を継いで菩薩道を歩み続ける佐々井上人が、
自身中の鉄塔を開顕す！

平成27年 6月14日 (日)

場所 高野山大学黎明館

午前9時半開場 入場無料

アンベードカル博士像に献花 五戒文読経

第1部 10時「私観南天鉄塔」

第2部 13時「アンベードカル博士と現代インドの仏教徒」

主催：高野山大学／南天会

後援：高野山真言宗総本山金剛峯寺国際局 東方出版

アンベードカル博士国際教育協会日本支部

インド仏教復興の父B・R・アンベードカル博士の銅像が高野山の地に！

2013 年 10 月にインド・マハーラシュトラ州と和歌山県の間で取り交わされた観光交流及び企業間協力のための覚書により、アジャンタ、エローラ、そして高野山という仏教に関係する世界遺産を持つ両自治体の友好の証しとして、2015 年 5 月インドから贈られたアンベードカル博士の銅像が、開創 1200 年を迎えた高野山の高野山大学構内に設置されます。

佐々井秀嶺高野山講演 スケジュール

日時：平成 27 年 6 月 14 日（日） 場所：高野山大学黎明館 入場無料 収容最大人数 800 名

9：30 アンベードカル博士像へ献花五戒文読経

10：00 第 1 部「私観南天鉄塔」

佐々井秀嶺

中村龍海 インド国立ナーラング大学大学院学生（インド仏教遺跡研究者）

龍樹菩薩の靈告に従い、ナグプール南天龍宮城に赴いた佐々井上人。そこで大乘仏教発祥にかかわる数々の遺跡を発見した。在インド 50 年に及ぶ佐々井上人大乘仏教研究の集大成、事理不二円満の南天鉄塔が開顕される。真言宗のみならず、全日本仏教注目の論考。新刊、佐々井秀嶺口述／中村龍海筆記『龍樹と龍猛と菩提達磨の源流～サータヴァーハナ王朝・パーンドゥ王朝・ボーディ王朝』（東方出版刊）を当日会場にて販売。

12：00 休憩昼食

13：00 第 2 部「アンベードカル博士と現代インドの仏教徒」

佐々井秀嶺

B.R. アンベードカル及びエンゲイジド・ブディズム研究会

関根康正 関西学院大学教授

志賀浄邦 京都産業大学准教授

鈴木晋介 茨城キリスト教大学助教

根本達 筑波大学助教

インド憲法の起草者にして不可触民解放の父、そしてインド仏教復興の大導師アンベードカル博士とはいかなる人物か。博士亡き後のインド仏教徒とともに生き、博士の意志を継いで自他ともに認める後継者となった佐々井上人が語るインド仏教復興の歴史。「B・R・アンベードカル及びエンゲイジド・ブディズム研究会」の解説。

15：00 検討会 交流会 16:30 終了



※写真：山本宗補撮影



B・R・アンベードカル（1891～1956）

インドの政治家・不可触民解放の指導者。自ら不可触民に生まれ、カースト制による苛酷な差別を受けながらも、研鑽をつみ、政治、法律、思想、哲学など各分野でインドを代表する人物

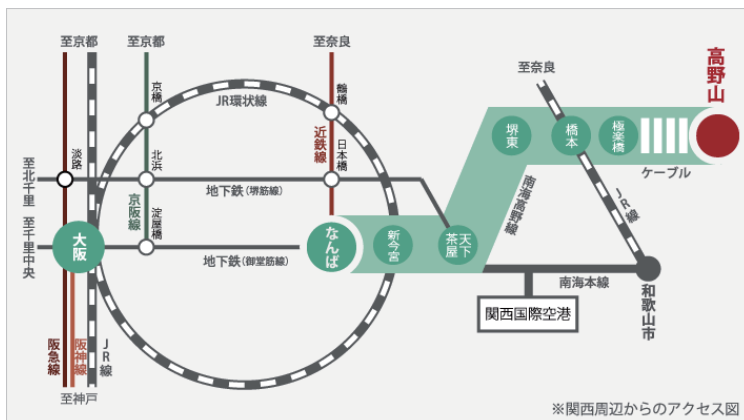
となる。この間常に不可触民の解放に尽力し、インド初代法務大臣に就任して現インド憲法を起草、不可触民制の撤廃を宣言した。最晩年の 1956 年、ナグプールにおいて約 50 万人の不可触民と共に仏教に改宗する。インド仏教復興運動の父。その著『ブッダとそのダンマ』はインド仏教徒のバイブル。



佐々井秀嶺（1935～）

岡山県生まれ。高尾山薬王院にて山本秀順師について得度。龍樹菩薩の靈告に従ってインドナグプールに入り、以来 50 年、現地の仏教徒と寝食を共にし、アンベードカル博士の

仏教復興運動を継承。インド名 Arya Nagarjuna Shurei Sasai。およそ 1 億人とも言われるインド仏教徒の最高指導者。大菩提寺返還運動を主導し、インド政府の少数者委員会仏教代表に就任。1994 年アンベードカル国際平和賞受賞。今なお仏教徒の社会運動の先頭を行く。現在 79 歳。



お問い合わせ 高野山大学企画課／南天会事務局

高野山大学企画課 〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山 385

TEL：0736-56-2921（代）FAX：0736-56-2746

南天会事務局 〒710-0004 岡山県倉敷市西坂 1582-1



TEL/FAX:086-463-9391 nantenkai@gmail.com

南天会ホームページ www.nantenkai.org



Facebook 佐々井秀嶺資料室